

第5回 医療系大学eラーニング全国交流会 報告書

アンケート 及び グループディスカッション討議結果

2011年3月

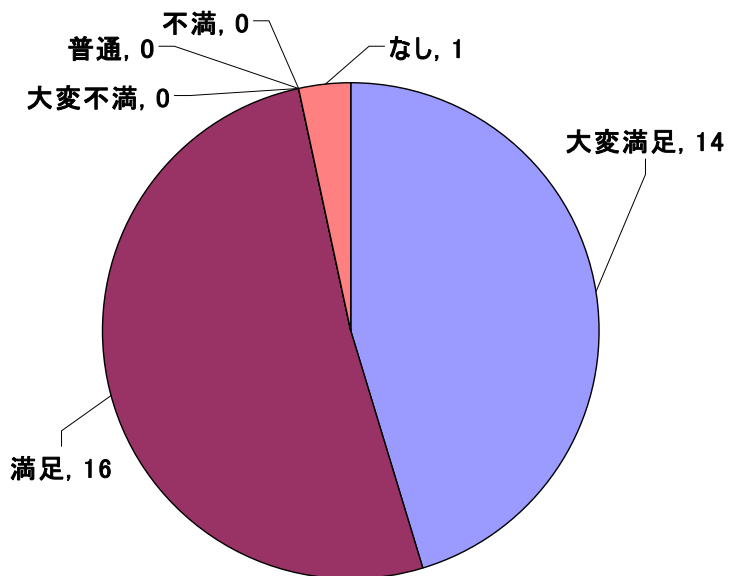
目次

1. アンケート結果（選択式）	3
2. アンケート結果（自由記述式）	5
2.1. 交流会全体の満足度について.....	5
2.2. 交流会の運営やスタッフの対応について.....	5
2.3. 各プログラムについて	6
2.4. この交流会を何でお知りになりましたか？	7
2.5. その他.....	8
3. グループディスカッションの意見分類	9
3.1. オリジナルデータ	9
3.2. 分類（宿題カード「赤」カード b）	18
3.3. 分類（解決に使える「青」カード a）	22
3.4. 分類（まとまりのタイトルとしての「黄」カード c）	24

1. アンケート結果（選択式）

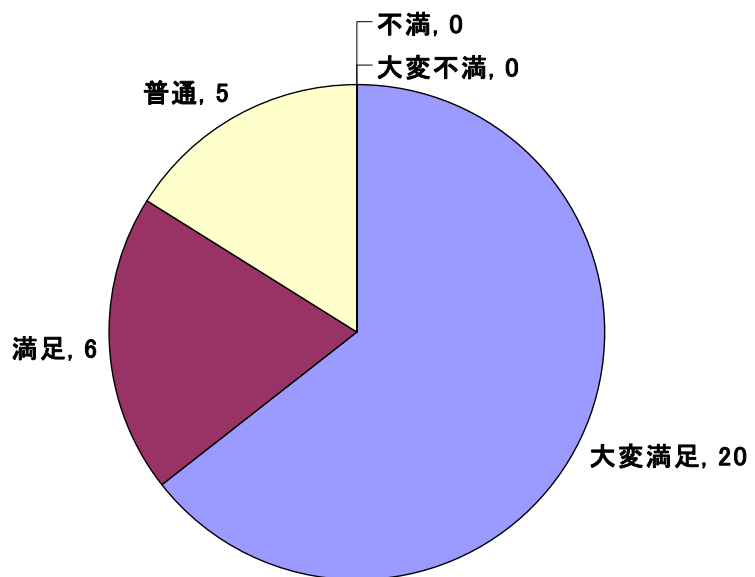
[1] 交流会全体の満足度について

大変満足	14
満足	16
普通	0
不満	0
大変不満	0
なし	1



[2] 交流会の運営やスタッフの対応について

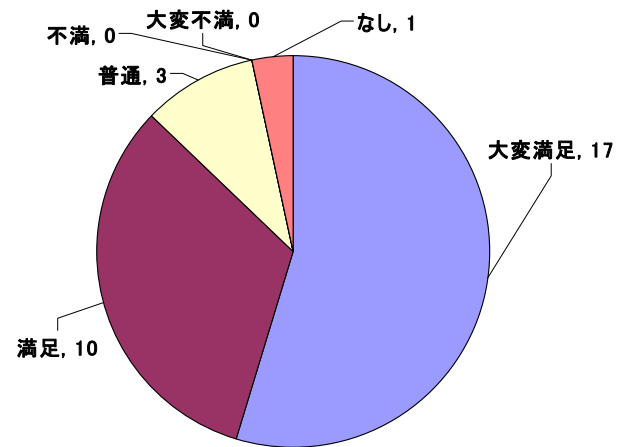
大変満足	20
満足	6
普通	5
不満	0
大変不満	0



[3] 各プログラムについて

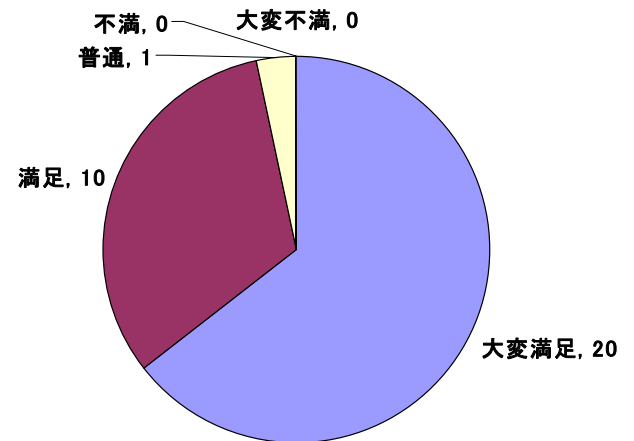
(1) Key-note Speech

大変満足	17
満足	10
普通	3
不満	0
大変不満	0
なし	1



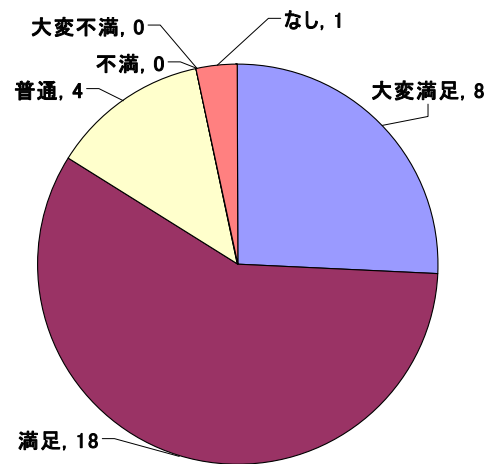
(2) 口頭発表

大変満足	8
満足	18
普通	4
不満	0
大変不満	0
なし	1



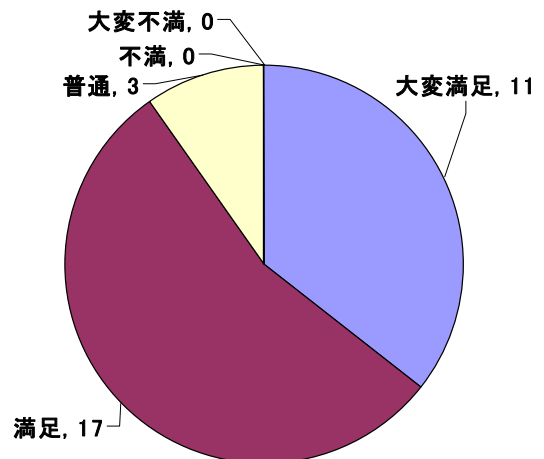
(3) グループディスカッション

大変満足	20
満足	10
普通	1
不満	0
大変不満	0



(4) 全体討議

大変満足	11
満足	17
普通	3
不満	0
大変不満	0



2. アンケート結果（自由記述式）

2.1. 交流会全体の満足度について

- 2日目のSGDが面白かったです
- WS形式は大変良かったです
- eラーニング導入して1年足らずで問題解決につながるアイデアやいろいろな運用や形があることが分かりやすく知ることが出来た
- 初めて参加させていただきましたが満足です
- 導入を考えているが、参考になった。
- 多種で話をするのはとても刺激的で、役に立ちました。
- 参加できてよかったです
- よく工夫されていて楽しかったです。
- 内容・構成もよく企画されており、運営も大変スムーズだったように思います。
- ワークショップが良かった
- 期待以上の成果を得ることが出来ました。
- 色々な人と話せて楽しかった。
- 3人の発言はすばらしいですが、参加者の参加もあるといいですね。
- 他大学、他施設での現状と課題を知り楽しませていただきました
- 色々な方法があることを知り、また自院の課題を見つけることが出来た。
- 各大学での悩みを色々知ることが出来た。
- 準備前のアナウンスから配列とてもよかったです。
- 聴講のみではなく、議論を交わせる場があったのは非常に良かった
- 2会場になってしまったので、行ったりきたりが大変でした。全ての発表が聞きたかった。

2.2. 交流会の運営やスタッフの対応について

- 名札、クローク、受付などに加え、発表の際のPCやマイクの不具合に対応できるスタッフを配置されていて気持ち良かったです。
- とても細かく対応していただきました
- PCトラブルへの対処がうまくなかったように思います
- 運営方法も勉強になりました。大変な工夫が感じられました。感謝です。
- Good!!
- ありがとうございます。
- とても気持ちよく参加させていただきました。
- 丁寧かつ迅速にご対応いただきました。ありがとうございます。
- 第1会場の室温
- 多くの手厚いご配慮を頂ありがとうございました。
- スムーズな運営ありがとうございました。
- ホテルが格安で泊まれ、懇親会のお料理もとても良かったです。
- 会場が暑かったり寒かったりした。冊子に誤字 etc 間違いが多い。
- 丁寧な対応に深謝です。
- 親切、丁寧に対応していただきました。

2.3. 各プログラムについて

- 同じ1シートに打っていただければ結構です。
- 「ID」理論の定義自体のイメージがつかめません
- 運営は大変だったと思います。感謝申し上げます。
- 口頭発表にシンポも含め増やしてはどうでしょうか 医大、病院全体、看護などに分けて
- ディスカッションの宿題で青の Postit は必要だったのか
- グループディスカッションで各施設での現状などの情報共有や問題に対する討議が大変有意義でした
- それぞれにおいて話頭を頂きました
- グループディスカッションは良い 同じ問題意識を持つ方が多いのを知り、参考になった。
- 様々な立場の方とディスカッションできたのはとても参考になりました。テーマが少々広い為なかなかまとめるのが大変
- グループディスカッションが大変有意義でした。
- 悩みを共有できた他、解決に向けたヒントをたくさん得ることが出来ました。
- 鈴木先生がはじめ、密度の高い、充実した内容でした。
- 交流会の運営で工夫されていることが良くわかりました。「宿題」があり少々戸惑いました
- グループディスカッションでは本音の意見が聞けて大変勉強になりました。
- 頭発表が、学会のような印象を受けました。もっと自由に、実践を発表し、悩みも共有できたり、支えあったりすることが出来るといいですね。やはり全ての発表を見たり聞いたりですね
- 全体討議にもう少し時間が欲しかった
- ファミリーレーター、コメンテーターの先生方から経験談を含めた具体的なアドバイスが聞けてよかったです。
- いろいろ貴重な意見が聞け、参考になりました。自院の認知はもちろん、看護界にも 今までのアナログ研修ではなく代用できる物を使い、もっと楽に効率的にツールとして広める必要性を感じました。
- ID の概念をまとめたレジュメは、新しいシステムを構築する指針になります。
- 口頭発表のときのスタッフの人（メカ系）が先実が先実していて、とても安心して発表できました。抄録にメモ欄があると良かった。
- 鈴木先生のお話が面白く興味深かった。
- 勉強になりました。
- プログラム3P、未修正箇所があります。
 - 真嶋職位、准教授→教授
 - 中村先生、副委員長→副院長

2.4. この交流会を何でお知りになりましたか？

- 郵送されてきたポスター
- 学部上層より
- Web
- Hp
- 大阪府立大学の真嶋教授紹介
- 企業の紹介です。
- インターネットで検索して
- 大学事務に送付頂いた資料
- eラーニング大学の折に聞きました
- 目的を持って作るということ
- 昨年から参加していたから
- Web、メール
- 直接
- 会社の先輩
- eラーニング担当教師からの連絡
- 学会のチラシ
- 上司に誘われて
- 木下先生のご紹介
- 昨年の会
- 産業医科大学 柴田准教授のご紹介によりお伺いいたしました。

2.5. その他、開催地・時期・費用・対象者の設定等、交流会のあり方を含め、ご自由にご意見を伺わせてください

- 会場が寒い
- 抄録事前に欲しい
- 抄録のフォーマットは合わせた方がよい
- 2月は地域によっては雪などの事も考慮が必要だと思います。
- 初めてこの地に来ました。良かったです。
- 自校のeラーニング委員長
- 大学入試時期の為、日程的には厳しい。
- 来学へのご案内もお願いします。
- 費用はちょうど良いと思います。
- closing session で紹介された今後の方向性については賛成です。
- 交流会のMLを設置できないでしょうか？
- 問題に対する解答を頂きたいです。期待しています。
- フロアからも意見が出せると良いですね。
- 担当校の負担が少ないように工夫していきましょう。
- 全体的に皆が参加できる工夫がたくさんされており楽しい会でした。
- もっとPRしたら如何でしょうか。今後の医療界において、最も重要とされる分野と思います。(効率化、質保証など)
- ディスカッションを初日にも欲しいです。有意義でした。
- 参加費が4,000円位だとちょうど出しやすいです。(私費でもOKの額がいいです)
- 現行の内容(時期、ボリューム共)で問題ありません。
- 色々な場所でやってほしいです。医療系のICTは他分野での参考事例になりやすいと思います。PRしていくこともいいですね。

3. グループディスカッションの意見分類

KJ法によるグループディスカッションの結果を

宿題カード「赤」

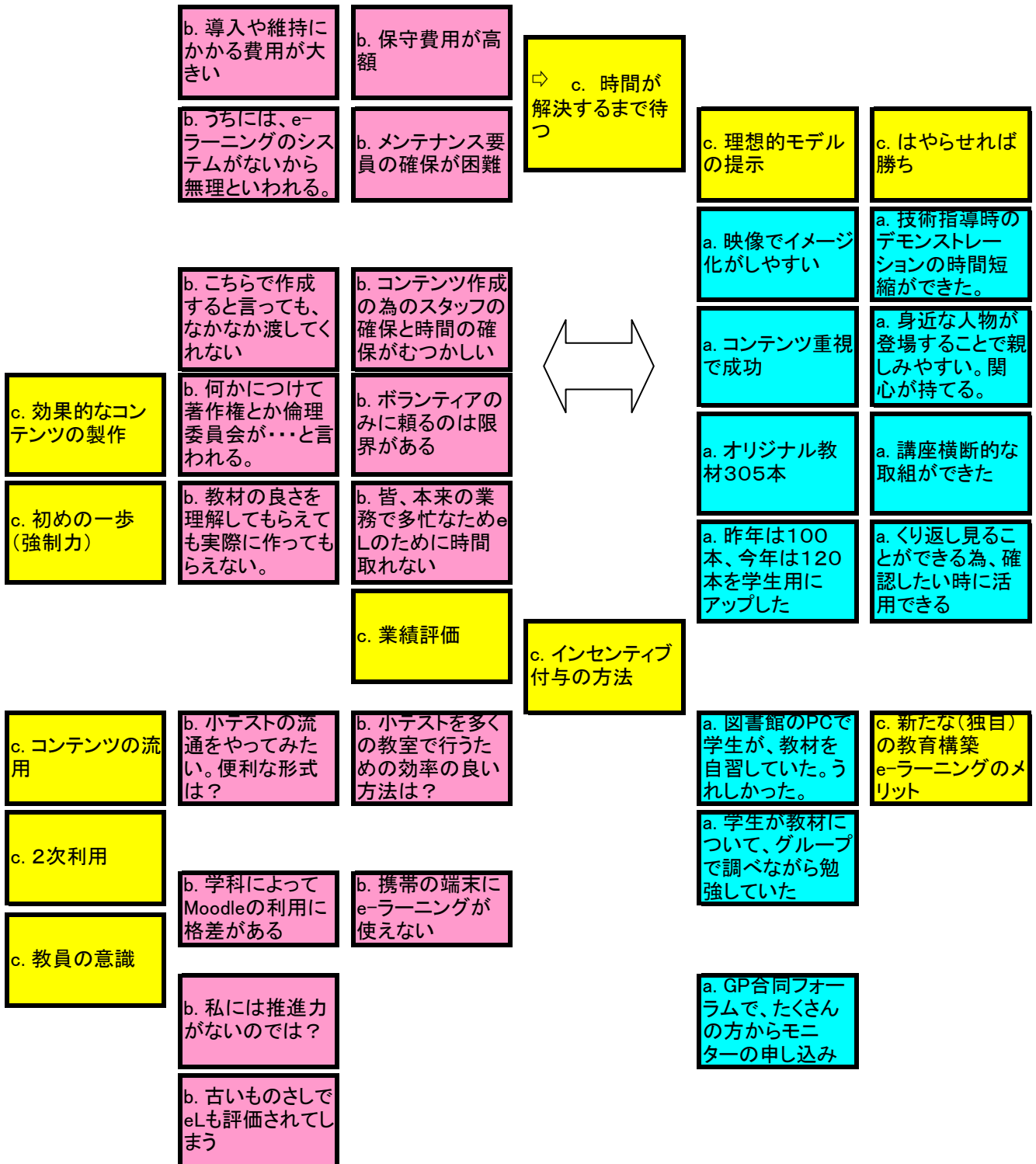
解決に使える「青」カード

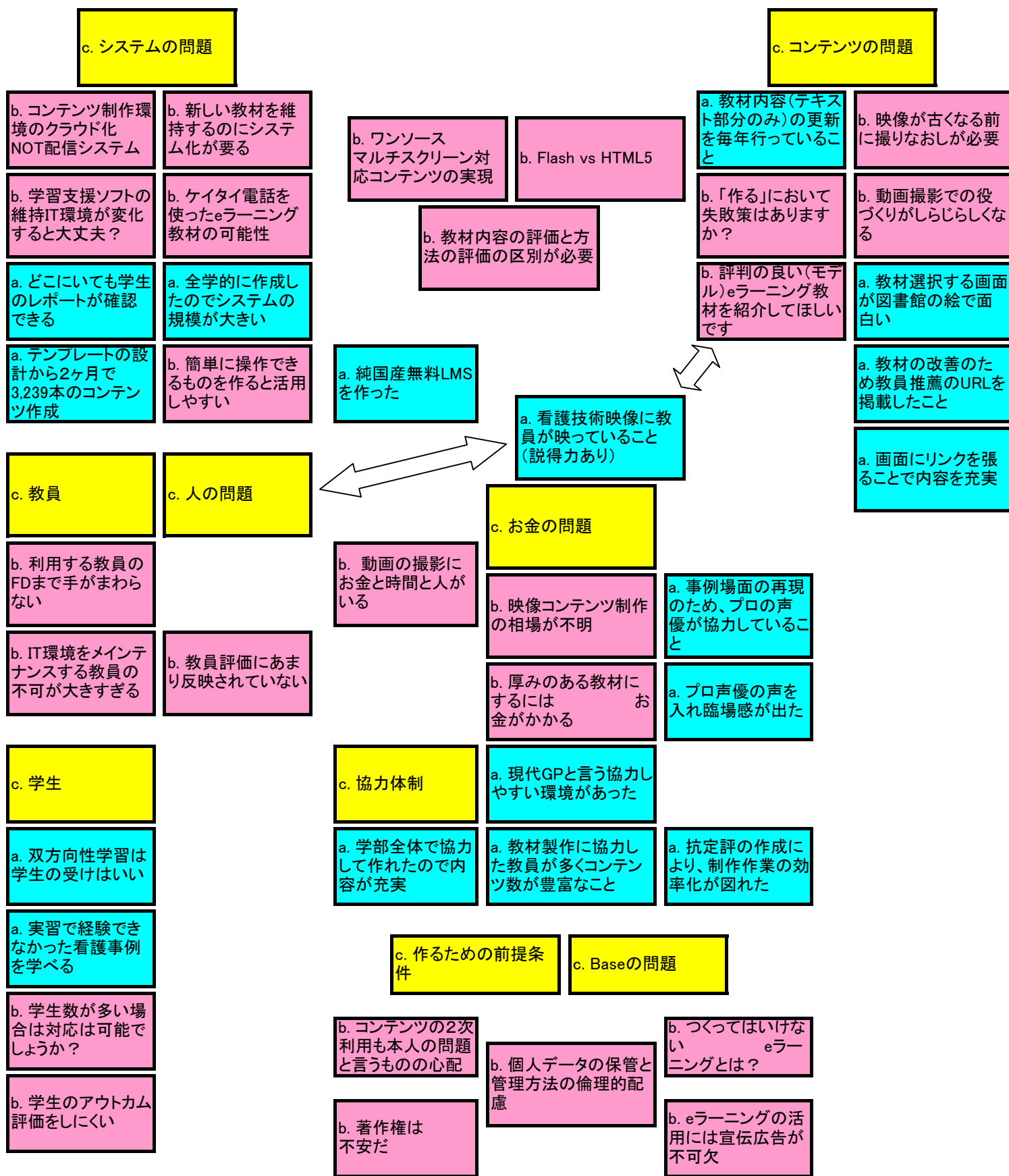
まとまりのタイトルとしての「黄」カード
に分類し、以下に提示する。

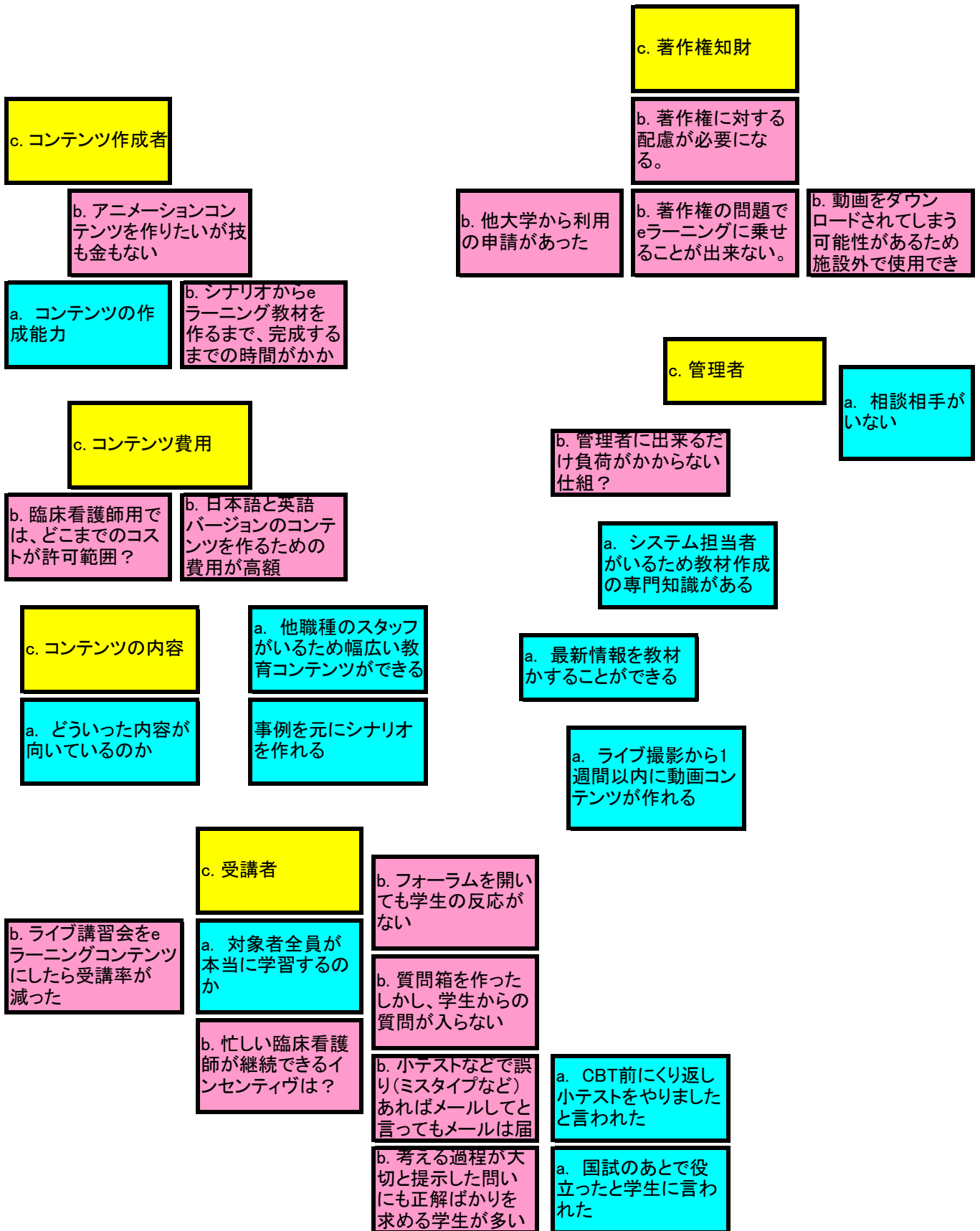
3.1. オリジナルデータ

3.2～3.4のもととなる各グループのKJダイアグラムを次頁以降に提示する。

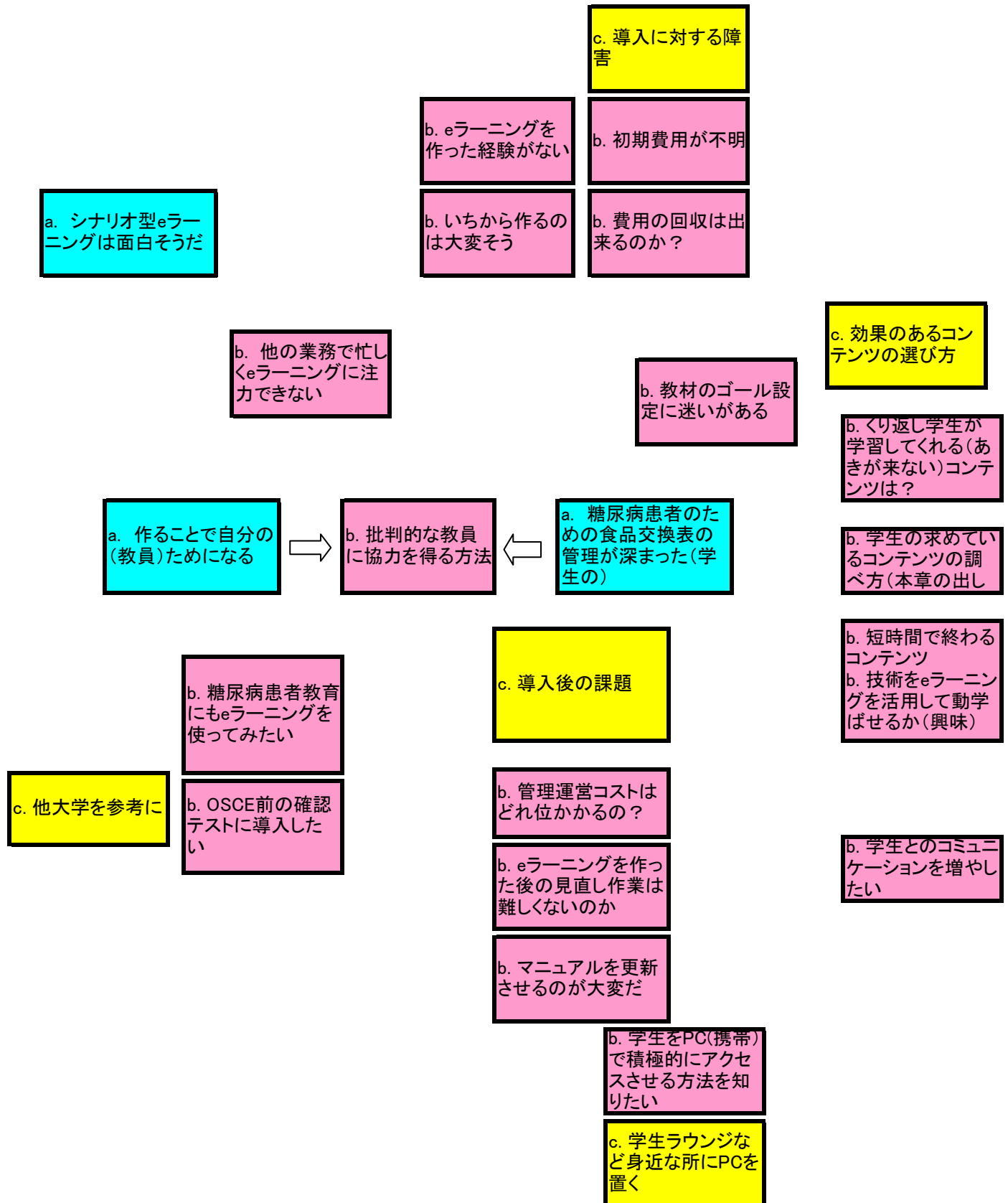
グループ:X-1



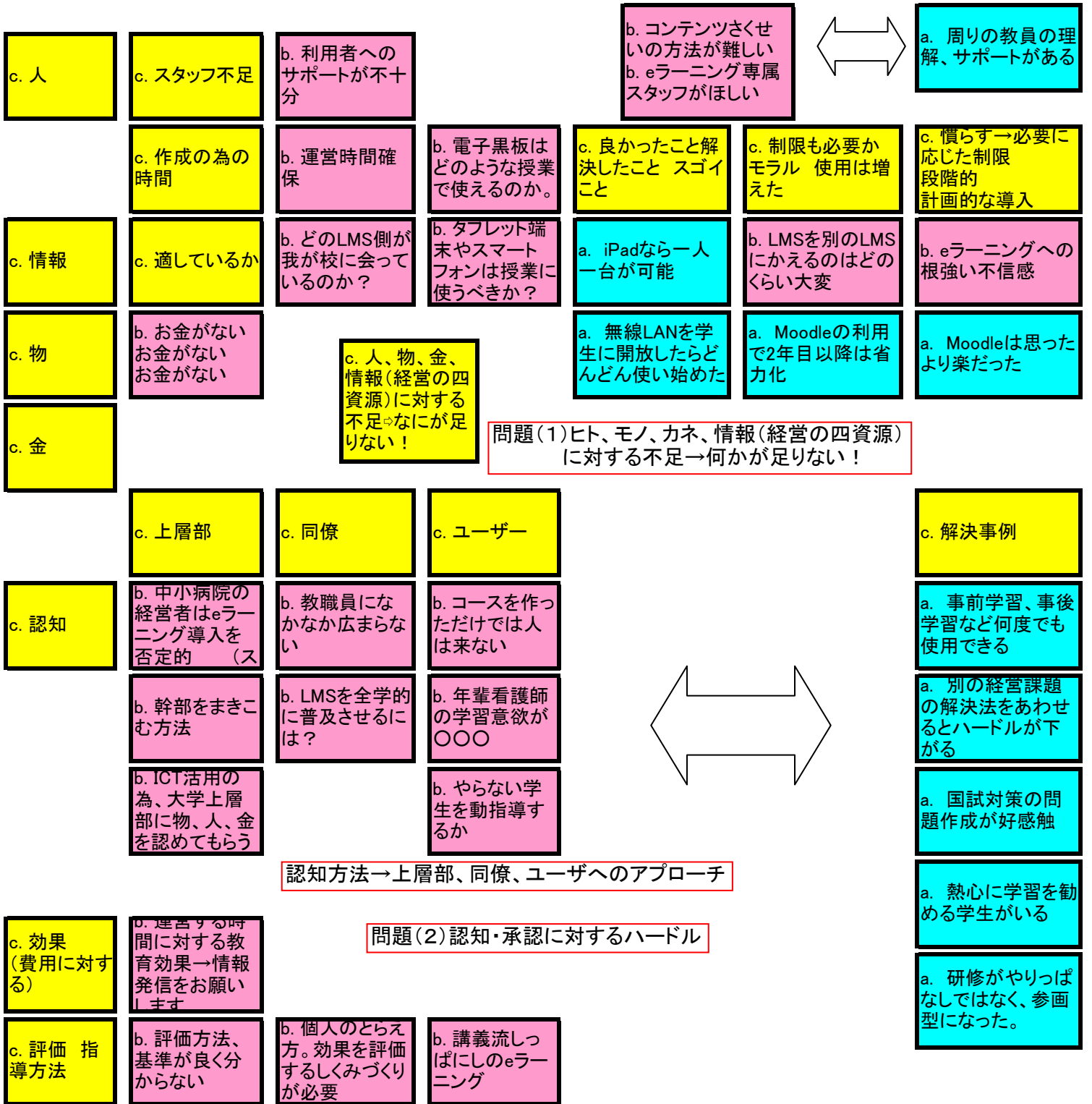




グループ:X-4



グループ:Y-1



a. 「まだ」eラーニングの導入が出来ていない事(逆説的ですが)

b. 図書館での提供事例は？

a. システム設計はよい所がある

c. 継続的な人材作り
システム管理

a. 学部長の全動的協力
教務事務の協力

a. システムの運営する研究センターが開設(兼任)

a. 導入決定から4ヶ月でシステムを稼働させた

a. 全員兼任だが何とか運用している。

a. 6年間継続して運営できた

b. 絵心がないつまらないコンテンツ

b. コンテンツの見直しはどれぐらいの期間で行われていますか？

a. 長期的に維持できる工夫。
コンテンツの修正
PSPのデータ

b. 専任の担当部署が欲しい

b. 動画やアニメーションの長さは、どの程度いいのでしょうか？

c. コンテンツ作成のコスト？
・動画アニメーション

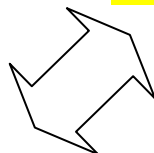
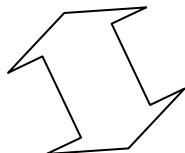
c. システムコストのCP?

b. 運営資金の確保が難しい

b. iPadを使った自習・成績管理システムがあれば良い

b. Hyper Card のようなオーサリングシステムが欲しい

b. 運営体制が脆弱



c. システムの評価

b.eラーニングに対する学内の要求が

b. 学生はコンテンツが増えても、もっともっと要求する。学生の主体化が課題

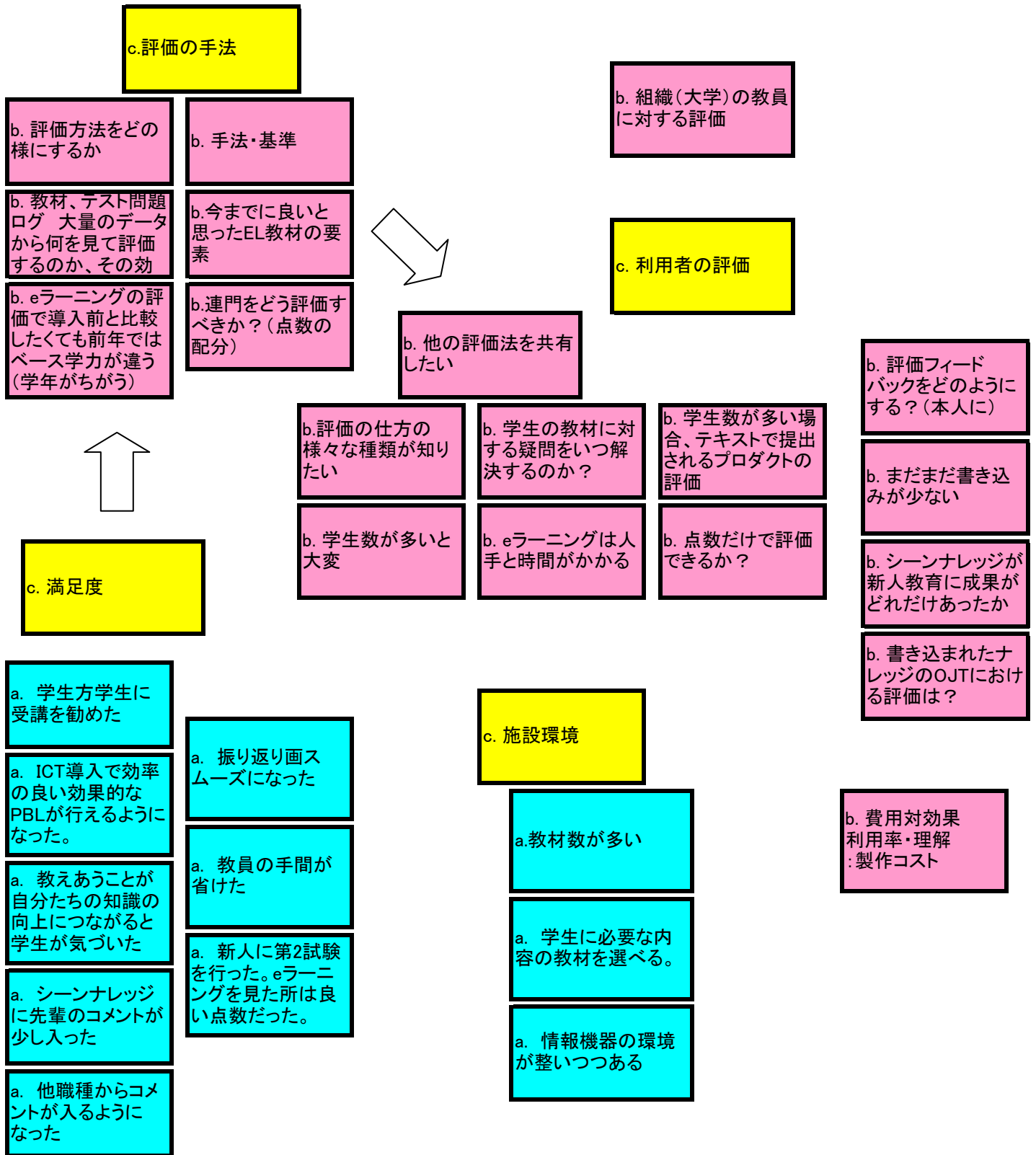
b. 受講生への開講通知はどのようにしていますか？

b. 学部内でのシステム利用者を増やすことが課題

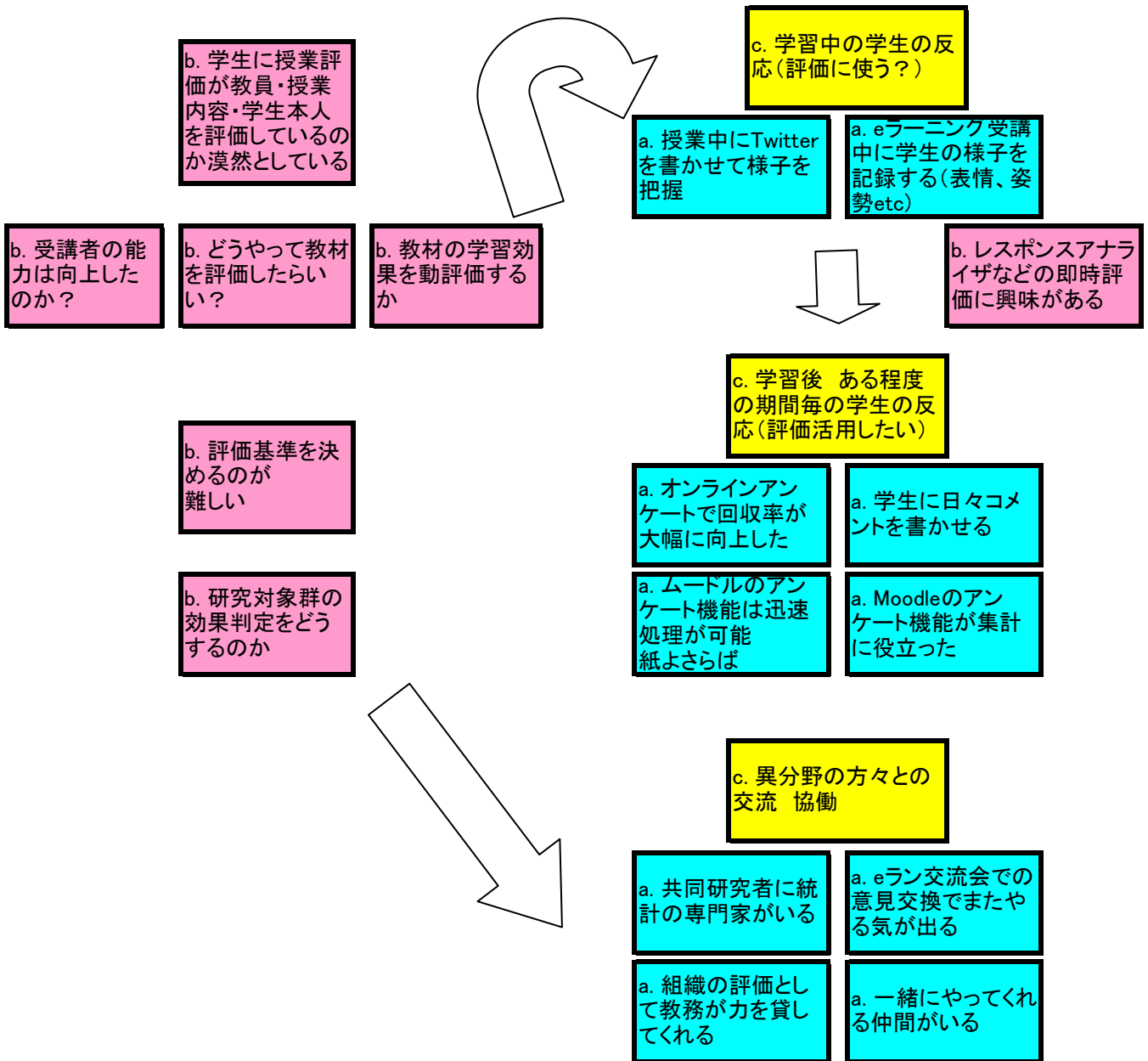
b. あきっぽい。システムをつくるところで

b. 終了時間が極端に短い受講者がいる

b. 受講率の低いものに対する対応は？



グループ:Z-2



3.2. 分類 (宿題カード「赤」カードb)

右表は 1)~138) を“キーワード出現頻度解析”用いて解析した表である。

<http://seo.webcreativepark.net/keyword-analysis/?mode=analysis>

- 1) 連門をどう評価すべきか？(点数の配分)
- 2) 臨床看護師用では、どこまでのコストが許可範囲？
- 3) 利用者へのサポートが不十分
- 4) 保守費用が高額
- 5) 評判の良い(モデル)eラーニング教材を紹介してほしいです
- 6) 評価方法、基準が良く分からない
- 7) 費用対効果,利用率・理解:製作コスト
- 8) 費用の回収は出来るのか？
- 9) 批判的な教員に協力を得る方法
- 10) 年輩看護師の学習意欲が〇〇〇
- 11) 日本語と英語バージョンのコンテンツを作るための費用が高額
- 12) 動画撮影での役づくりがしらじらしくなる
- 13) 動画をダウンロードされてしまう可能性があるため施設外で使
用できない
- 14) 動画の撮影にお金と時間と人がいる
- 15) 電子黒板はどのような授業で使えるのか。
- 16) 点数だけで評価できるか？
- 17) 著作権の問題でeラーニングに乗せることが出来ない。
- 18) 著作権に対する配慮が必要になる。
- 19) 中小病院の経営者はeラーニング導入を否定的(スゴク嫌い)
- 20) 他大学から利用の申請があった
- 21) 専任の担当部署が欲しい
- 22) 新しい教材を維持するのにシステム化が要る
- 23) 小テストを多くの教室で行うための効率の良い方法は？
- 24) 小テストの流通をやってみたい。便利な形式は？
- 25) 初期費用が不明
- 26) 受講率の低いものに対する対応は？
- 27) 受講者の能力は向上したのか？
- 28) 手法・基準
- 29) 今までに良いと思ったeラーニング教材の要素
- 30) 講義流しっぱなしのeラーニング
- 31) 個人のとらえ方。効果を評価するしくみづくりが必要
- 32) 携帯の端末でeラーニングが使えない
- 33) 教職員になかなか広まらない
- 34) 教材の良さを理解してもらえても実際に作ってもらえない。
- 35) 教材の学習効果を動評価するか
- 36) 教員評価にあまり反映されていない

キーワード	品詞	出現頻度
評価	名詞	1.44%(23/1587)
ラーニング	名詞	1.19%(19/1587)
学生	名詞	0.94%(15/1587)
コンテンツ	名詞	0.88%(14/1587)
教材	名詞	0.81%(13/1587)
ない	形容詞	0.56%(9/1587)
方法	名詞	0.56%(9/1587)
時間	名詞	0.5%(8/1587)
システム	名詞	0.44%(7/1587)
ある	動詞	0.37%(6/1587)
対	動詞	0.37%(6/1587)
教員	名詞	0.37%(6/1587)
お金	名詞	0.31%(5/1587)
ため	名詞	0.31%(5/1587)
テスト	名詞	0.31%(5/1587)
作っ	動詞	0.31%(5/1587)
作る	動詞	0.31%(5/1587)
利用	名詞	0.31%(5/1587)
確保	名詞	0.31%(5/1587)
費用	名詞	0.31%(5/1587)
運営	名詞	0.31%(5/1587)
eラーニング	名詞	0.31%(5/1587)
LMS	名詞	0.25%(4/1587)
かかる	動詞	0.25%(4/1587)
する	動詞	0.25%(4/1587)
効果	名詞	0.25%(4/1587)
動画	名詞	0.25%(4/1587)
多い	形容詞	0.25%(4/1587)
大変	名詞	0.25%(4/1587)
必要	名詞	0.25%(4/1587)
授業	名詞	0.25%(4/1587)
活用	名詞	0.25%(4/1587)
良い	形容詞	0.25%(4/1587)
著作権	名詞	0.25%(4/1587)

- 37) 技術を e ラーニングを活用して動学ばせるか (興味)
- 38) 簡単に操作できるものを作ると活用しやすい
- 39) 学部内でのシステム利用者を増やすことが課題
- 40) 学生数が多い場合、テキストで提出されるプロダクトの評価
- 41) 学生はコンテンツが増えても、もっともっと要求する。
- 42) 学生の教材に対する疑問をいつ解決するのか？
- 43) 皆、本来の業務で多忙なため e ラーニングのために時間取れない
- 44) 何かにつけて著作権とか倫理委員会が・・・と言われる。
- 45) 映像が古くなる前に撮りなおしが必要
- 46) 運営時間確保
- 47) 運営資金の確保が難しい
- 48) 運営する時間に対する教育効果→情報発信をお願いします
- 49) レスポンスアナライザなどの即時評価に興味がある
- 50) ライブ講習会を e ラーニングコンテンツにしたら受講率が減った
- 51) やらない学生を動指導するか
- 52) メンテナンス要員の確保が困難
- 53) ボランティアのみに頼るのは限界がある
- 54) どの LMS 側が我が校に合っているのか？
- 55) どうやって教材を評価したらいい？
- 56) つくってはいけない e ラーニングとは？
- 57) タブレット端末やスマートフォンは授業に使うべきか？
- 58) シナリオから e ラーニング教材を作るまで、完成するまでの時間がかかりすぎる
- 59) コンテンツ作成の為にスタッフの確保と時間の確保がむづかしい
- 60) コースを作っただけでは人は来ない
- 61) ケイタイ電話を使った e ラーニング教材の可能性
- 62) お金がない,お金がない,お金がない
- 63) いちから作るのは大変そう
- 64) LMS を別の LMS にかえるのはどのくらい大変
- 65) LMS を全学的に普及させるには？
- 66) HyperCard のようなオーサリングシステムが欲しい
- 67) Flash vs HTML5
- 68) e ラーニング専属スタッフがほしい
- 69) e ラーニングへの根強い不信感
- 70) e ラーニングは人手と時間がかかる
- 71) e ラーニングの活用には宣伝広告が不可欠
- 72) 「作る」において失敗策はありますか？
- 73) 利用する教員の FD まで手がまわらない
- 74) 評価方法をどの様にするか
- 75) 教材、テスト問題ログ大量のデータから何を見て評価するのか、その効率化
- 76) 学生数が多い場合は対応は可能でしょうか？

- 77) 学生のアウトカム評価をしにくい
- 78) 学習支援ソフトの維持 IT 環境が変化すると大丈夫？
- 79) コンテンツ制作環境のクラウド化 NOT 配信システム
- 80) IT 環境をメンテナンスする教員の不可が大きすぎる
- 81) e ラーニングの評価で導入前と比較したくても前年ではベース学力が違う（学年がちがう）
- 82) 導入や維持にかかる費用が大きい
- 83) 私には推進力がないのでは？
- 84) 古いものさしで e ラーニングも評価されてしまう
- 85) 学科によって Moodle の利用に格差がある
- 86) こちらで作成すると言っても、なかなか渡してくれない
- 87) うちには、e ラーニングのシステムがないから無理といわれる。
- 88) 動画やアニメーションの長さは、どの程度いいのでしょうか？
- 89) 図書館での提供事例は？
- 90) 絵心がないつまらないコンテンツ
- 91) コンテンツの見直しはどれぐらいの期間で行われていますか？
- 92) アニメーションコンテンツを作りたいが技も金もない
- 93) iPad を使った自習・成績管理システムがあれば良い
- 94) 評価基準を決めるのが難しい
- 95) 研究対象群の効果判定をどうするのか
- 96) 学生に授業評価が教員・授業内容・学生本人を評価しているのか漠然としている
- 97) 糖尿病患者教育にも e ラーニングを使ってみたい
- 98) 幹部をまきこむ方法
- 99) OSCE 前の確認テストに導入したい
- 100) ICT 活用の為、大学上層部に物、人、金を認めてもらうには？
- 101) 忙しい臨床看護師が継続できるインセンティブは？
- 102) 他の業務で忙しく e ラーニングに注力できない
- 103) 評価の仕方の様々な種類が知りたい
- 104) 学生数が多いと大変
- 105) 著作権は不安だ
- 106) 小テストなどで誤り（ミスタイプなど）あればメールしてと言ってもメールは届かない
- 107) 質問箱を作ったしかし、学生からの質問が入らない
- 108) 考える過程が大切と提示した問いにも正解ばかりを求める学生が多い
- 109) フォーラムを開いても学生の反応がない
- 110) コンテンツの2次利用も本人の問題と言うものの心配
- 111) 終了時間が極端に短い受講者がいる
- 112) 受講生への開講通知はどのようにしていますか？
- 113) ワンソース,マルチスクリーン対応コンテンツの実現
- 114) 他の評価法を共有したい
- 115) e ラーニングを作った経験がない
- 116) 教材内容の評価と方法の評価の区別が必要

- 117) 管理運営コストはどれ位かかるの？
- 118) マニュアルを更新させるのが大変だ
- 119) eラーニングを作った後の見直し作業は難しくないのか
- 120) 厚みのある教材にするにはお金がかかる
- 121) 個人データの保管と管理方法の倫理的配慮
- 122) 管理者に出来るだけ負荷がかからない仕組？
- 123) 映像コンテンツ制作の相場が不明
- 124) 組織（大学）の教員に対する評価
- 125) 学生を PC(携帯) で積極的にアクセスさせる方法を知りたい
- 126) 教材のゴール設定に迷いがある
- 127) コンテンツさくせいの方法が難しい
- 128) 運営体制が脆弱
- 129) あきっぽい。システムをつくるところで
- 130) eラーニングに対する学内の要求が
- 131) シーンナレッジが新人教育に成果がどれだけあったか
- 132) 評価フィードバックをどのようにする？（本人に）
- 133) 短時間で終わるコンテンツ
- 134) 書き込まれたナレッジの OJT における評価は？
- 135) 学生の求めているコンテンツの調べ方（本章の出し方）
- 136) 学生とのコミュニケーションを増やしたい
- 137) まだまだ書き込みが少ない
- 138) くり返し学生が学習してくれる（あき来ない）コンテンツは？

3.3. 分類 (解決に使える「青」カード a)

3.2 と同様に、1)~79) を“キーワード出現頻度解析”用いて解析した表である。

<http://seo.webcreativepark.net/keyword-analysis/?mode=analysis>

- 1) 無線 LAN を学生に開放したらどんどん使い始めた
- 2) 別の経営課題の解決法をあわせるとハードルが下がる
- 3) 糖尿病患者のための食品交換表の管理が深まった (学生の)
- 4) 長期的に維持できる工夫。コンテンツの修正,PSP のデータ
- 5) 対象者全員が本当に学習するのか
- 6) 他職種のスタッフがいるため幅広い教育コンテンツができる
- 7) 全学的に作成したのでシステムの規模が大きい
- 8) 図書館の PC で学生が、教材を自習していた。うれしかった。
- 9) 身近な人物が登場することで親しみやすい。関心が持てる。
- 10) 純国産無料 LMS を作った
- 11) 周りの教員の理解、サポートがある
- 12) 事例場面の再現のため、プロの声優が協力していること
- 13) 事前学習、事後学習など何度でも使用できる
- 14) 国試対策の問題作成が好感触
- 15) 国試のあとで役立ったと学生に言われた
- 16) 講座横断的な取組ができた
- 17) 工程表の作成により、制作作業の効率化が図れた
- 18) 現代 GP という協力しやすい環境があった
- 19) 教材内容 (テキスト部分のみ) の更新を毎年行っていること
- 20) 教材選択する画面が図書館の絵で面白い
- 21) 教材製作に協力した教員が多くコンテンツ数が豊富なこと
- 22) 教材の改善のため教員推薦の URL を掲載したこと
- 23) 技術指導時のデモンストレーションの時間短縮ができた。
- 24) 学部長の全動的協力,教務事務の協力
- 25) 学部全体で協力して作れたので内容が充実
- 26) 学生に日々コメントを書かせる
- 27) 学生が教材について、グループで調べながら勉強していた
- 28) 一緒にやってくれる仲間がいる
- 29) プロ声優の声を入れ臨場感が出た
- 30) システム設計はよい所がある
- 31) システムの運営する研究センターが開設 (兼任)
- 32) コンテンツの作成能力
- 33) くり返し見ることができる為、確認したい時に活用できる
- 34) Moodle は思ったより楽だった
- 35) Moodle の利用で 2 年目以降は省力化
- 36) Moodle のアンケート機能が集計に役立った
- 37) iPad なら一人一台が可能

キーワード	品詞	出現頻度
学生	名詞	1.36%(13/952)
教材	名詞	1.15%(11/952)
こと	名詞	0.84%(8/952)
できる	動詞	0.73%(7/952)
ため	名詞	0.63%(6/952)
コンテンツ	名詞	0.63%(6/952)
協力	名詞	0.63%(6/952)
教員	名詞	0.63%(6/952)
いる	動詞	0.52%(5/952)
システム	名詞	0.52%(5/952)
ラーニング	名詞	0.52%(5/952)
作成	名詞	0.52%(5/952)
内容	名詞	0.52%(5/952)
学習	名詞	0.52%(5/952)
でき	動詞	0.42%(4/952)
Moodle	名詞	0.31%(3/952)
ある	動詞	0.31%(3/952)
アンケート	名詞	0.31%(3/952)
コメント	名詞	0.31%(3/952)
事例	名詞	0.31%(3/952)
作れ	動詞	0.31%(3/952)
導入	名詞	0.31%(3/952)

- 38) GP 合同フォーラムで、たくさんの方からモニターの申し込みがあった
- 39) eラーニング交流会での意見交換でまたやる気が出る
- 40) eラーニング受講中に学生の様子を記録する（表情、姿勢 etc）
- 41) CBT 前にくり返し小テストをやりましたと言われた
- 42) 他職種からコメントが入るようになった
- 43) 双方向性学習は学生の受けはいい
- 44) 実習で経験できなかった看護事例を学べる
- 45) 教えあうことが自分たちの知識の向上につながると学生が気づいた
- 46) どこにいても学生のレポートが確認できる
- 47) どういった内容が向いているのか事例を元にシナリオを作れる
- 48) テンプレートの設計から2ヶ月で3239本のコンテンツ
- 49) シーンナレッジに先輩のコメントが少し入った
- 50) ICT 導入で効率の良い効果的な PBL が行えるようになった。
- 51) シナリオ型 eラーニングは面白そうだ
- 52) 「まだ」eラーニングの導入が出来ていない事（逆説的ですが）
- 53) 作ることで自分の（教員）ためになる
- 54) 去年は100本、今年は120本を学生用にアップした
- 55) 映像でイメージ化がしやすい
- 56) コンテンツ重視で成功
- 57) オリジナル教材305本
- 58) 新人に第2試験を行った。eラーニングを見た所は良い点数だった。
- 59) 振り返り画スムーズになった
- 60) 教員の手間が省けた
- 61) ムードルのアンケート機能は迅速処理が可能紙よ、さらば
- 62) 情報機器の環境が整いつつある
- 63) 最新情報を教材かすることができる
- 64) 教材数が多い
- 65) 学生に必要な内容の教材を選べる。
- 66) 組織の評価として教務が力を貸してくれる
- 67) 授業中に Twitter を書かせて様子を把握
- 68) 共同研究者に統計の専門家がいる
- 69) ライブ撮影から1週間以内に動画コンテンツが作れる
- 70) オンラインアンケートで回収率が大幅に向上した
- 71) 看護技術映像に教員が映っていること（説得力あり）
- 72) システム担当者がいるため教材作成の専門知識がある
- 73) 導入決定から4ヶ月でシステムを稼働させた
- 74) 全員兼任だが何とか運用している。
- 75) 6年間継続して運営できた
- 76) 相談相手がいない
- 77) 画面にリンクを張ることで内容を充実

- 78) 熱心に学習を勧める学生がいる
- 79) 研修がやりっぱなしではなく、参画型になった。

3.4. 分類 (まとまりのタイトルとしての「黄」カードc)

- 1) 良かったこと解決したことスゴイこと
- 2) 理想的モデルの提示
- 3) 物
- 4) 評価指導方法
- 5) 認知
- 6) 同僚
- 7) 適しているか
- 8) 他大学を参考に
- 9) 制限も必要か,モラル,使用は増えた
- 10) 人の問題
- 11) 人
- 12) 新たな(独自)の教育構築,eラーニングのメリット
- 13) 情報
- 14) 時間が解決するまで待つ
- 15) 効果(費用に対する)
- 16) 継続的な人材作りシステム管理
- 17) 金
- 18) 協力体制
- 19) 慣らす→必要に応じた制限,段階的
- 20) 解決事例
- 21) ユーザー
- 22) はやらせれば勝ち
- 23) スタッフ不足
- 24) コンテンツ作成者
- 25) コンテンツ作成のコスト?・動画アニメーション
- 26) Baseの問題
- 27) 初めの一步(強制力)
- 28) 効果的なコンテンツの製作
- 29) 教員の意識
- 30) 教員
- 31) 学生
- 32) コンテンツの流用
- 33) コンテンツの内容
- 34) 2次利用
- 35) 満足度
- 36) コンテンツ費用

- 37) 業績評価
- 38) システムの問題
- 39) インセンティブ付与の方法
- 40) 評価の手法
- 41) 上層部
- 42) 作成の為の時間
- 43) 受講者
- 44) 人、物、金、情報（経営の四資源）に対する不足?なにが足りない!
- 45) 作るための前提条件
- 46) 施設環境
- 47) システムの評価
- 48) 導入後の課題
- 49) システムコストの CP?
- 50) お金の問題
- 51) 導入に対する障害
- 52) 利用者の評価
- 53) 学生ラウンジなど身近な所に PC を置く
- 54) 著作権知財
- 55) 学習後ある程度の期間毎の学生の反応（評価活用したい）
- 56) 異分野の方々との交流,協働
- 57) 管理者
- 58) 学習中の学生の反応（評価に使う?）
- 59) コンテンツの問題
- 60) 効果のあるコンテンツの選び方